

# ミスト10号 亜りん酸 (0-29-26)

## 対象別推奨施肥量

●迅速な吸収 ●発根促進 ●根茎健強 ●病害抵抗性

### 果菜類/葉菜類 /根菜類

果菜類 葉菜類 根菜類	効能	1m2当たりの 施用量	希釈倍率	初回の施用	2回目以降の施用
トマト	徒長抑制 健苗育成 耐病性向上	0.2~0.5cc/m2	育苗期:1000~2000倍 定植後:500~1000倍	育苗時期、 間引き時期、 本葉2枚頃から	10~15日間隔で 1~2回 その後必要に応じて 1~2回
レタス、ほうれん草 キャベツ、白菜 その他の 葉菜類	耐病性向上 未消化窒素の低減 品質向上	0.2~0.5cc/m2	500~1000倍	本葉3~4枚頃から または 定植後	10~15日間隔で 1~2回 その後必要に応じて 1~2回
ブロッコリー カリフラワー 他のアブラナ類	徒長抑制 健苗育成 耐病性向上	0.2~0.5cc/m2	育苗期:1000~2000倍 定植後:500~1000倍	育苗時期、 間引き時期、 本葉2枚頃から	10~15日間隔で 1~2回 その後必要に応じて 1~2回
キュウリ、メロン スイカ、 カボチャ 他のウリ類	耐病性向上 着果促進、実の充実 糖度アップ 花芽の充実	0.2~0.5cc/m2	500~1000倍	着蕾時期から	10~15日間隔で 1~2回 その後必要に応じて 1~2回
小豆、大豆 そら豆、いんげん えんどう豆 他の豆類	着果促進、らい数増加 耐病性向上 品質向上	0.2~0.5cc/m2	500~1000倍	定植時期から 着蕾時期後期まで	10~15日間隔で 1~2回 その後必要に応じて 1~2回
イチゴ	花芽分化の促進 耐病性向上 品質向上	0.2~0.5cc/m2	育苗期:1000~2000倍 定植後:500~1000倍	育苗時(花芽分化時期) と 定植後	10~15日間隔で 1~2回 その後必要に応じて 1~2回
タマネギ、人参 大根、ゴボウ ニンニク 根菜類	地下部肥大促進 耐病性向上 品質向上	0.2~0.5cc/m2	500~1000倍	地下部肥大初期から	10~15日間隔で 1~2回 その後必要に応じて 1~2回
ジャガイモ 甘藷、馬鈴薯 他の芋類	玉肥大促進 茎葉の強化 耐病性向上 品質向上	0.2~0.5cc/m2	500~1000倍	玉肥大初期から	10~15日間隔で 1~2回 その後必要に応じて 1~2回
コーヒー豆	耐病性向上 品質向上	0.2~0.5cc/m2	500~1000倍	定植後	15~30日間隔 根がしっかり 付くまで

\* 徒長抑制の場合は500倍希釈を推奨します。